

役割を果たす2期 を振り返って

～人の役に立てる自分になるために、今“したいこと”よりも、“すると良いこと”を～

坂本中学校では1年間を5つの期間に分けて、教育活動を推進しています。この学校だよりが発行される頃は、ちょうど2期が終了し、3期に入る切り替えの時期となります。大型連休明けの5月9日から始まった2期では、タイトルにあるように「役割を果たす2期 ～人の役に立てる自分になるために、今“したいこと”よりも、“するとよいこと”を～」を目標に、様々な活動に取り組んできました。例えば、学校生活の中での委員会や係活動、給食や日直などの当番活動、各学年の行事（3年生修学旅行、2年生篠島研修、1年生学年レク）を成功させるための役割活動などがあります。これらの活動を通して、一人一人の責任と、仲間と活動していく喜び、そして、「自分は人の役になっている」という自己有用感を獲得していきます。

サブタイトルに「“したいこと”よりも、“すると良いこと”を」という言葉がありますが、この言葉は、20年以上前から坂本中学校で大切にされてきている言葉です。自分にとって「したいこと」を優先させることよりも、自分の成長にとって「すると良いこと」は何かを常に考えて実践できる人になってほしいという願いがあります。こういった実践の積み重ねによって、社会に出て通用する力が身についていくと考えています。

右上に掲載した写真は、2年生が篠島研修で行った浜辺の清掃ボランティアの様子です。朝の5時半に集合して、眠い目をこすりながら、仲間と一緒に“すると良いこと”を実践してきました。散歩をしていた篠島の住民の方から「ありがとう」の言葉をかけられ、釣りを楽しんでいる旅行者の方からは「ごくろうさま」の声をかけられる場面もありました。“すると良いこと”は周囲の人にとってありがたいことであり、“すると良いこと”をした人の行動は、とても価値あることだと実感できた場面でした。

一方、3年生の修学旅行は、広島での平和学習を行いました。訪れる直前に世界中が注目したG7が開催され、多くの海外旅行客が広島を訪れていました。その中心となる原爆資料館前に特設ステージと被爆ピアノが設置され、3年生は多くの観光客を前にして合唱を披露し、拍手喝采をあげました。

今回の平和学習を通して、修学旅行のテーマである「気づく、感じる、考える」ことができたのと同時に、修学旅行で合唱を披露するという「行動を起こす」ことが、平和への役割を果たすことにつながったのではないかと思います。

今後も坂本中の生徒が地域で役割を果たすことができるよう活動を進めていきます。



篠島研修での浜辺の清掃活動



平和公園での合唱披露